

(仮想) みずとつちの芸術祭 - 新潟 - 2024



- 基本理念** MANY BRIDGES 可能性をつなげる。掛け合わせる。
～過去を知り、現在(いま)を考え、未来を創る～
- 開催趣旨** 阿賀野川と信濃川の2つの大河から生まれた新潟市を含む越後平野は、大河によってもたらされた恩恵や被害を受けながら、共に今日を迎えています。大河と共に生きてきた先人たちは、恩恵を活かし、そして時に苦闘しながらも、知恵を絞って暮らし文化をつくり上げてきました。その文化は、地域ごとに様々な個性があり、多様性に満ちています。越後平野のIdentityである水と土、それらと共に生きてきた先人たち、2018年まで開催された水と土の芸術祭に感謝し、これまでに築き上げられてきた歴史文化を次代に伝えると共に、Artsの力で再び「新潟とは何か」を問い、新たな文化を創造する芽を育む、市民の手で行う新しい芸術祭。
- 主催** 新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと) <指定管理者 環境をサポートする株式会社きらめき>
- 共催** みずとつちの芸術祭実行委員会
※メイン会場以外の作品展示・イベントは単独主催企画
- メイン会場** 新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと) 2階 水と土の文化ギャラリー
住所: 新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7
電話: 025-201-7530
料金: 入場無料(一部イベント有料)
会期: 7/13(土曜) ~ 9/23(月曜・祝日)
第一部 開会式 7/13(土曜) 13:00
第二部 開会式 8/18(日曜) 13:00 / 閉会式 9/23(月曜・祝日) 15:00
時間: 9:00 ~ 21:30 (最終日は15:00迄)
休館日: 7/22(月曜)、8/26(月曜)
- サブ会場**
- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| ①海辺の森キャンプ場 | 住所: 新潟市北区島見町1-135 |
| ②山の下神明宮 | 住所: 新潟市東区臨港1丁目8-48 |
| ③新潟ユニゾンプラザ | 住所: 新潟市中央区上所2丁目2-2 |
| ④ブック・オーレ | 住所: 新潟市中央区上所1丁目12-18 |
| ⑤珈琲工房うた 直売所 | 住所: 新潟市江南区北山1336-4 |
| ⑥カフェまる。 | 住所: 新潟市東区秋葉1-2-8 |
| ⑦ラグーナスクエア | 住所: 新潟市北区葛塚3222番地 |
| ⑧ヴァーチャル会場 ((仮想) みずとつちメタバース芸術祭2024) | |
- ※各サブ会場の営業日(開催日)、駐車場等についてはホームページ等で確認ください。
- 飲食コラボ**
- 佐渡自然食レストラン 貴支 | みずとつち御膳<期間限定メニュー>
住所: 新潟市中央区西堀前通6-894-1(西堀ローサ内)
営業時間: (昼)11:00~14:30 / (夜)16:00~20:00 / 定休日: 日曜、第3水曜日
- 珈琲工房うた 直売所 | みずとつちブレンド珈琲<期間限定>
住所: 新潟市江南区北山1336-4
営業時間: 9:30 から夕暮れ(18:00頃)まで / 定休日: インスタグラムを確認ください
- スタンプラリー** メイン会場(ゆいぽーと)、ブック・オーレに来場、ラグーナスクエアを利用、佐渡自然食レストラン 貴支で食事、イベントに参加するとスタンプを集められます。全て集めると松島菜月の絵が完成します。
- 協力** にゅう潟研究所、亀田 Art & Light、潟の夢映画祭実行委員会、阿賀野川遡上計画、冥土連、にいがた映画塾、海辺の森キャンプ場、EOS by Rhea.company、山の下神明宮、新潟県社会福祉協議会、ブック・オーレ、珈琲工房うた 直売所、カフェまる。、laguna square / ラグーナスクエア、佐渡自然食レストラン 貴支、NPO 法人アートキャンブ新潟、STUDIO THYME (難波契介、篠沢千鶴)、すい CREATORS、等
- その他** 追加作品や、イベントの追加・中止・延期・変更等の最新情報は、右記の二次元コード先のホームページやSNS等にてお知らせ致します。また、当企画に対するお問い合わせは、下記にお願い致します。
[お問い合わせ先] 水と土の芸術祭市民サポーターズ(みずとつちサポーターズ)
担当: 平岩 史行 (ひらいわ ふみゆき) Tel: 080-3142-1684 / E-mail: info.mizutsuchi@gmail.com



(仮想) みずとつちの芸術祭 —新潟— 2024

7月13日(土曜) - 9月23日(月曜・祝日)



メイン会場 : 新潟市芸術創造村・国際青少年センター (ゆいぽーと)

サブ会場 : 海辺の森キャンプ場、山の下神明宮、新潟ユニゾンプラザ、ブック・オーレ、珈琲工房うた 直売所、カフェまる。、laguna square / ラグーナスクエア、等

表紙デザイン : すい CREATORS(写真: 平岩史行+作画: 松島咲月)

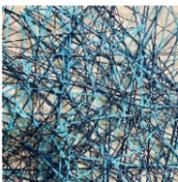
アート

「新潟とは何か」を表現する数々の作品たち。

※フライヤーの掲載写真はイメージのため実際の展示作品と異なる場合があります。

※掲載作品は一部です。会期中に会場または作品が増える可能性があります。ホームページ等でご確認ください。

ゆいぽーと

 <p>作品 タイトル未定 その風土によって、人々の生活や文化が違うように、植生もまた、その風土によって違う。植物を地域性を内在した画材として用いる。 作家 ハアフーフ</p>	 <p>作品 垂穂に風 稲刈りの時が近づくと決まって吹く大風。凪いだ後も風の通り道をはっきりと残す、田園風景を思いながら彫りました。 作家 手塚千晴</p>
 <p>作品 「記憶と記録の境界で」 ピンホールで撮影された街の風景たち。「記憶」にしては現実的な、「記録」としては曖昧な瞬間を写しています。 作家 阿部和志</p>	 <p>作品 Sense of rice その土地の風景を見ると、人々が何を主食にしているかわかる時があります。新潟の水と土が育む、お米の食文化を風景から感じています。 作家 高橋ノリユキ</p>
 <p>作品 space poteto 生命の力強さと繊細さを、糸を使って表現することに挑戦します。 作家 アートキャンプ新潟</p>	 <p>作品 water2024 水・大地・動物をテーマに制作をしています。環境破壊が進む地球の声に耳を傾ける時間になったらうれしいです。 作家 斉藤明子</p>
 <p>作品 look around すいCREATORSの平岩史行が撮った写真の上にデジタルでイラストを描きのせる方法で制作。今回の作品は「周り」をコンセプトにした。 作家 松島咲月(すいCREATORS)</p>	 <p>作品 agano river 映画『阿賀に生きる』阿賀野川遡上計画の上映会のために制作した動画の撮影地を再び巡り、写真作品として再構築する。 作家 fumi yukihiraiwa</p>
<p>第一部のみ(7/13~8/17)</p>	<p>第二部のみ(8/18~9/23)</p>
 <p>作品 新潟散歩 異邦人が感じるニイガタらしさ。その色、空気。気が付くと短い人生の途中で、最も長い時間を過ごしていました。そんな記憶です。 作家 大山小太郎</p>	 <p>作品 川 水に溶かした土砂(阿賀野川産)と竹炭は、和紙繊維の凹凸の間を流れ、川を模し、自然の理を語りかける。 作家 古田木綿子</p>
 <p>作品 ガタラージュ 新潟のワンシーンをチェキで切り取り、絵やドライフラワーなどと組み合わせたコラージュ作品です。 作家 高口理美</p>	 <p>作品 チクチクサイサイ 市場「採彩」で飼われる羊から刈り取った羊毛を曾野木アトリエで羊毛加工を学ぶ村上氏に染色して頂きニードルフェルディングで制作。 作家 かんだあきら</p>

海辺の森キャンプ場

 <p>作品 人と自然を大切に 海辺の森キャンプ場を運営しつつ、人と自然を大切に、廃材や流木を使い「トキ」などの作品を制作して展示する。 作家 関本圭佑</p>	 <p>作品 彷徨 彷徨の地。あてもなく歩く砂浜の、なんて心地よいことか。そこに辿り着いた者の、不思議な語りを聞きながら、ひたすら撮影しました。 作家 高橋ノリユキ</p>
 <p>作品 ネコ(木彫) 家ネコちゃんが自由に走り回れる外の世界に出ようとアタフタ登りついています。(=^x^=)逃亡中!! 作家 斉藤明子</p>	 <p>作品 動物シリーズ アートキャンプ新潟で活動する作家、渡辺茂さんによる動物シリーズ。様々な形の画用紙を組み合わせて生き物を表現します。 作家 渡辺茂(アートキャンプ新潟)</p>

山の下神明宮

 <p>作品 にゅう潟に生息しているかもしれない動物、願いのうろこ 参道脇の「青葉公園」にある古い遊具たちを『にゅう潟に生息しているかもしれない動物』として新たな命を吹き込みました。制作過程のドキュメンタリー展示も併せて行います。また、手水舎はリニューアルして『願いのうろこ』を制作します。 作家 松島菜月</p>	
--	---

<p>新潟ユニゾンプラザ</p>  <p>作品 にゅう潟ランド ユニゾンプラザ1階にある巨大なガラスアートを一部リニューアルして『にゅう潟ランド』を会期中に制作します。 作家 松島菜月</p>	<p>ブック・オーレ</p>  <p>作品 ガタカミちゃんを探せ mini 2021年、2022年に行ったガタカミちゃん探せで制作したガタカミちゃんフィギュアを展示する。未発表のものもあるかも?探してね。 作家 ハアフーフ&松島菜月</p>
<p>珈琲工房うた 直売所</p>  <p>作品 楽しげな水のループで踊るティエラ 普段生きている環境から影響を受け、見えない何かを描く。新潟は不思議な妖しい存在が沢山いるらしいので、それが登場するかもね。 作家 KAOKUBO</p>	<p>カフェまる。</p>  <p>作品 深海クラッチアート 自由に描く線に命を吹き込み深い色合いで人々の目を惹きそして、人々の心を癒したい 作者 黒咲絹空</p>
<p>laguna square / ラグーナスクエア</p>  <p>作品 本当に大切なことを伝えたい等 過去の(仮想)みずとつちの芸術祭にて制作・展示した作品の中から、潟をテーマにした作品を中心に、複数再展示する。 作家 ハアフーフ&松島菜月</p>	<p>ヴァーチャル会場</p>  <p>(仮想)みずとつちメタバース芸術祭2024 左記の二次元コード先のホームページからご覧ください。過去作品や未展示作品、にゅう潟研究所の展示や、ゲーム空間もあります。 管理 本間和人</p>
<p>その他</p> <p>上記以外に、メイン会場のゆいぽーとには、岡村鉄琴の書、後藤正明の写真、難波契介の作品。第一部では、村井勇の映画『阿賀に生きる』写真パネル。第二部では、平井有佳、江間一誓、小澤康太の作品。階段には、新潟大学生がワークショップで制作した作品『新潟の田んぼ』を展示する予定です。サブ会場にも複数作品を展示する予定です。また、作品および展示会場の募集も行っています。その他、メイン会場のインフォメーションでは、最新イベント情報、協力者のフライヤー等を設置します。</p>	

<p>イベント</p> <p>※会期中に増える可能性があります。ホームページ等でご確認ください。 ※各イベントはスタンプラリー対象になります。集めると良いことあるかも。 ※申し込み先 E-mail: info.mizutsuchi@gmail.com</p>	
<p>ゆいぽーと</p>	
<p>7/13(土)</p>	<p>13:30 イベント 総合ディレクター</p>
<p>8/18(日)</p>	<p>13:30 メイン会場解説ツアー (作家も参加するかも!?) 無料 定員: 各10名程度 会場: メイン会場 所要: 60分 申込: 不要</p>
<p>7/20(土)</p>	<p>13:30 イベント 映画『阿賀に生きる』阿賀野川遡上計画 映画『阿賀に生きる』上映会+製作仕掛人・旗野秀人さんとのトーク『新潟水俣病 公式確認60年を見据えて』 無料 定員: 30名程度 会場: クリエイティブスタジオ 所要: 180分 申込: 不要</p>
<p>8/18(日)</p>	<p>13:00 パフォーマンス ハアフーフ ガタカミ神楽 feat.古田木綿子 ~第二部 開会式にて~ 無料 定員: 20名程度 会場: メイン会場 所要: 30分 申込: 不要</p>
<p>8/24(土)</p>	<p>13:30 パフォーマンス 岡村鉄琴 書家・岡村鉄琴によるライブ書表現 無料 定員: 30名程度 会場: クリエイティブスタジオ 所要: 60分 申込: 要</p>
<p>9/01(日)</p>	<p>13:30 ギャラリートーク 総合ディレクター×高口理美 デザイン×アート「アートをデザインする?」 / 今後の(仮想)みずとつちの芸術祭について 無料 定員: 10名程度 会場: メイン会場 所要: 90分 申込: 不要</p>
<p>9/08(日)</p>	<p>13:30 ワークショップ 新潟大学教育学部美術教育専修「パレット隊」 講師: 本間佑希 松ぼっくりでカワイイお花とリースを親子で作ろう 1組500円 定員: 6組 会場: クリエイティブルーム2 所要: 未定 申込: 要</p>
<p>9/21(土)</p>	<p>13:00 ワークショップ NPO法人アートキャンプ新潟×手塚千晴 アートノラ ちいさな木の家をつくろう (材料が無くなり次第終了します) 200円 定員: 30名 会場: クリエイティブルーム2 申込: 不要</p>
<p>9/21(土)</p>	<p>13:30 イベント 潟の夢映画祭+にいがた映画塾(高橋秀彰) 潟の夢映画祭+新潟映画塾 自主制作映画上映会 無料 定員: 30名程度 会場: クリエイティブスタジオ 所要: 2時間 申込: 不要</p>